

「効率よく分析するためのデータ集計」

開催日：令和8年2月2日（月） 9:30～16:30 申込締切日：令和8年1月13日（火）
会場：株式会社宮崎県ソフトウェアセンター

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：ITを活用した業務改善に取り組む方

ねらい：効率よく大量のデータを分析するための、表計算ソフトを活用したデータ集計手法を習得する。

使用ソフト：Microsoft office 2019ver（PCは実施機関にて準備いたします。）

基本項目	主な内容
1 データ集約	(1) データ分析のステップを確認する (2) データの種類と特徴 (3) データを集約するときのポイント (4) データベース化
2 データ集計	(1) 表記のゆれ ・「表記のゆれ」の特定・データの重複を特定・入力規則の利用 (2) 仮説を立てて検証する ・変数の関係性を視覚化 (3) データの抽出と抽出条件設定 ・ドロップダウンボタンからの抽出と並べ替え・フィルタの利用・あいまい条件で抽出（ワイルドカード）
3 データ集計に役立つ機能	(1) 集計に役立つ関数 ・連番を振る（ROW関数） ・フリガナを振る（PHONETIC関数） ・年齢を求める（DATEDIF関数） (2) データを視覚化する ・ピボットテーブルの使用 ・データの大小・推移・割合 ・データ分布の可視化 (3) 多角的なデータ分析 ・変数の関係性を視覚化 ・相関分析の注意点を確認

2 | 講師紹介

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

立石 海人 / 株式会社宮崎県ソフトウェアセンター

今までの簡易的な経歴：基礎的ITスキルからデータベース連携でWebアプリ開発など、プログラミングにおいても幅広い授業が可能。特にネットワーク、サーバ構築の分野を得意とし、自らの経験を活かした、知識・技術が繋がる実践的な授業を展開する。OA研修についても職業訓練での講師経験を活かして活躍中。

カリキュラム作成のポイント・ひとつ

Excelで用意されているデータベース機能を中心に作業を行います。データベースを使いこなすための補助機能となる入力規則も同時に紹介します。データベースの分析では強力なツールとなるピボットテーブル、ピボットグラフを説明します。ぜひよろしくお願いたします。

